

別記  
第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

コミュニティ名 「できる！」で楽しく体力向上  
代表者所属名 亀岡市立禰田野小学校  
代表者職・氏名 教諭・藤井 将司 ㊞

京都府若手教員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 コミュニティ名	「できる！」で楽しく体力向上
2 研究テーマ	体育の苦手な児童・教師でも楽しみながらできる授業プランの作成
3 研究の目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・新学習指導要領に即した授業の在り方を学ぶ。</li><li>・亀岡市児童の体力の現状をもとに、各領域・各学年の単元計画の作成を行い、市内の教員に広め、児童の体力向上につなげる。</li></ul>
4 研究の成果と課題	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・単元計画を明確にすることが、新学習指導要領に即した授業実践につながると共通確認ができた。</li><li>・単元を通してサーキット運動を効果的に活用することが「児童の学習意欲を高め、運動に対する知識・技能を自然な形で習得でき、思考場面の活性化につながる」と仮説をたて、制限のある中でもそれぞれが実践を進めることができた。</li><li>・児童の実態に応じた体育授業の工夫ができるようになるためには、各領域および単元で身につけたい力を系統立てて理解していることが最も重要であると共通確認ができた。</li></ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・感染症の流行に伴い、体育授業そのものが大きな影響を受け、研究したことを実践して検証することが難しい状況にある。</li><li>・児童の実態に応じて幅広く活用できる授業プランの作成に向け、苦手な教員でも活用しやすいように提示の仕方を検討し、まとめ方を工夫していく必要がある。</li></ul>

5 研究成果の波及方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元計画プランの作成</li> <li>・領域、単元毎の活用しやすい運動（主運動につながる）の紹介冊子作成</li> <li>・市町の研究会における研修を通して、各校の体育授業推進の核となる教員に運動事例等を講習し、各校へ伝達する校内研修案の作成</li> </ul>		
6 研究（活動）実績	年月	研究（活動）内容（具体的に記載してください。）	活動場所
	2020/7	今年度の活動計画と研究の方向性の検討 新学習指導要領における授業の進め方の交流	亀岡市立 亀岡小学校
	2020/8	各領域の単元計画の作り方の共有 効果的なサーキット運動作りのポイントを整理	(同上)
	2020/11	各領域における系統立てたサーキットプランの検討	(同上)
	2021/2	今年度の研究およびそれに伴う実践のまとめ	(同上)
7 予算執行状況			

※ 紙面が不足する場合は、適宜行を追加し記入してください。